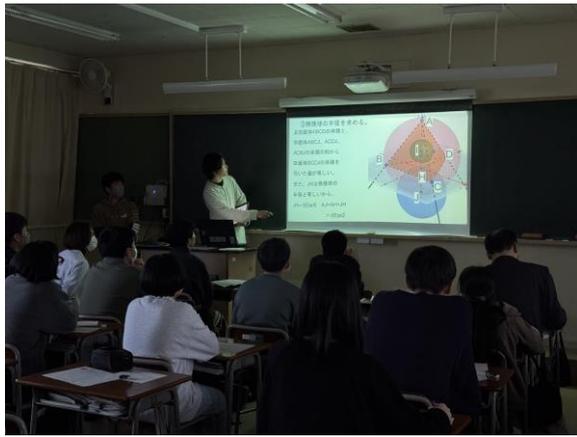


令和6年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名称	SSRB「課題研究B」中間発表会
期日	令和6年12月17日（火）5・6限
会場	本校2年7組教室・2年8組教室
対象	2年生（理数科・サイエンスコース）
目的	これまで行った研究について、進捗状況の報告と質疑応答を行い、次年度の最終発表会に向けて、自分たちの研究を見つめ直す契機とする。
内容	○理数科サイエンスコースの生徒が2会場に分かれて、14班の発表を行った。これまでの研究内容をまとめて発表し、質疑応答・相互評価・自己評価を行った。また、新潟県立教育センター指導主事（物理）、SSHコーディネーターの方に参加していただき、生徒及び担当教員が指導・助言を受けた。生徒は各研究班で行ってきた研究の成果を堂々と発表することができた。指導主事から助言と励ましをいただくとともに、生徒間で活発な質疑応答が行われ、今後の最終発表会に向け良い後押しとなった。
	
	
	発表の様子①
	発表の様子②



発表の様子③



指導主事による講評の様子

<各科目の課題研究のテーマ>

数学班

- ・トリリウムの定理の拡張

物理班

- ・コート別、ボールの空気圧別に最も有効なショットと対応
- ・圧電素子を用いた発電の可能性
- ・音程の感情表現における多様性
- ・パラシュートの落下速度と安定性の最適化

化学班

- ・ガラスの着色
- ・バイオエタノールの生成に関する研究
- ・生分解性プラスチック
- ・ラテックスに関する研究

生物班

- ・植物とハーブと菌の共生
- ・雨の後のミミズの行動
- ・植物と音楽に関する研究
- ・もやしでバイオエタノール

地学班

- ・消雪パイプの錆と地域の関係性（その2）